

# 学校通り

市民文化会館

中央図書館



文化会館に足を運んだ方なら、一度は目にしたであろうこの大きな彫刻。ギリシャ神話のゼウスとレダで「愛と憎しみ、求めあうもの」を表現しています。

## 「神話Ⅱ」

作：加藤 豊

教育センター

粕壁小



## 「小さい花」作：黒川 晃彦

教育センター前にあるこの作品はまだ未完成…。それは、実際にベンチに人が座って彫刻と同じ空間を共有した時、作品は完成するからだとのこと。

笛の音色が、いまにも聞こえてきそうなこの作品。作者は、音楽の調べに身をゆだね、心のやすらぎを得る至福のひとときへの憧れを造形することで、人類の平和を祈念したとコメントしています。

## 「瑶韻」作：一色 邦彦



## 「風の門」作：峯田 義郎

古代と現代の対比、そのイメージを表現したこの作品。「記念撮影-風が-」の作者、峯田 敏郎先生の実のお兄様です。どちらも作品名に【風】が入っているのは偶然なのでしょうか…？

旅人が、木陰でちょっと一服している様子を表現した、まちなみ公園に設置されたこの作品。公園の実際の木を作品の一部とした味わい深い彫刻です。



## 「旅人・樹陰」

作：池田 宗弘



## 「道標・鳩」作：柳原 義達

中央図書館前に設置され、銅製の孔雀鳩とともに、石製のイスに座って休むこともできるこの作品。作者の柳原先生は、彫刻の制作にあたり、実際に孔雀鳩を飼育されたとのこと！

平和を願い、心躍る出会いや友情のため、さっそうと出かけようとしているウサギをモチーフにした作品。道路に背を向けているのは、春日部駅に向かっていているからなのだから。



## 「おでかけ」作：藤原 吉志子

## コラム

大空を羽ばたく鳥をモチーフにしたこの作品。なんと、**本当に羽ばたきます！** 風を受けて優雅に羽ばたく姿は、ダイナミックで見応え抜群です♪

定期的に業務委託によるメンテナンスを行い、彫刻と、それを見る皆さまの安心と安全を確保しています。

チタン合金やステンレスでできたこの彫刻は、社会教育課が管理するもので一番高さのある作品です。その高さ、なんと約5.5メートル！



## 「風になるとき」作：西野 康造

ぶらっとかすかべ